



外国人住民の

カナダ出身
中原アセマンさん(丹野)

に、お話をしてみました



日本に来て7年目で、ずっと菊川市に住んでいます。菊川市には、春に桜が咲きすごく綺麗になる丹野池や茶畑など、自然が多くとてもいいところだと思います。日本に来て、菊川市にある虹の架け橋教室や卒業した中学・高校があったからこそ、日本語を学ぶことができました。また、日本の文化や習慣もそれぞれの学校でいろいろと学ぶことができました。友だちもたくさん作ることができ、今でも関わっています。

今は大学で国際教養や、外国語を勉強しています。これからも勉強を続けて、資格などを取って仕事をしたいと思っています。それだけではなく、日本に来てから今までしてきた、いろいろなボランティア活動などを続けていきたいです。



▲はじめての日本語教室の様子

参加者からこんな感想をいただきました

【受講生】
最初に参加した時は、ほとんど話せませんでしたが、今はなんとなくわかるようになりました。

【日本語ボランティア】
受講生さんの意識が高く、良い刺激を受けました。受講生さんの意識が高く、良い刺激を受けました。地域にこんなにも多くの外国籍の方がいて、日本語を一生懸命学ぼうとしている姿に毎回元気をもらいました。

はじめての日本語教室
昨年9月から11月に、平川コミュニティ防災センターで初級レベルの「はじめての日本語教室」が、全10回開催されました。教室は、日本語ボランティアと外国人住民が2人1組のペアになり進行。ブラジルやフィリピンなどの国籍の外国人が、ボランティアに教えてもらいながら日常生活で使う日本語を学びました。

受講生は、さまざまなテーマについて、ペアやグループの中で対話をしながら日本語を学び、ボランティアは、やさしい日本語で言い換えたり、スマートフォンで写真を見せたり工夫しながら、受講生とのコミュニケーションを楽しんでいました。

多文化共生サポーター

多文化共生サポーターとは、国際交流に関わる活動をするボランティアのことです。通訳・翻訳やホームステイ、日本語を教えるなどの活動にボランティア登録できます。皆さんの語学力や経験を活かしませんか? サポーターの詳細や登録方法は、市ホームページ(右記)をご覧ください。



外国人向け出前行政講座

市民向けに実施している出前行政講座は、市役所通訳(ポルトガル語、英語)を無料で派遣できます。どなたでも参加できる講座を実現するため、ぜひ活用ください。講座内容の一覧や申込方法は、市ホームページ(右記)をご覧ください。

